

■入学おめでとう！



新入生のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんは期待や不安など、さまざまな思いを持って本校に入学されたことと思います。高校は中学校と比べて、学習面はもちろん、部活動や学校行事においても自主性が大きく求められます。何事も自分から積極的にチャレンジしていけば多くのことが得られます。まずは、積極性を大事にしましょう。

高校生活の面白さの一つは、知り合える人の幅広さです。中学校までに知り合える人と言え、せいぜい自分の住んでいる地域の人だけだったのではないかと思います。しかし、高校（特に本校の場合）になると、地元（いわき市内近辺）だけでなく、遠く離れたところから入学してくる生徒が少なからずいます。そういった人たちとの出会いもぜひ大切にしていきましょう。

高校は義務教育ではなく、自分でしっかりとがんばって、進級や卒業のための基準をクリアしなくてはなりません。シラバスに沿ってしっかりと学習し、最終的に「単位不認定」などにならないように注意しましょう。

自分自身の夢や目標に向かって、着実に力をつけていってほしいものです。それぞれが充実した高校生活となることを期待しています。

■2・3年生のみなさんへ

2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。気持ちを新たに学校生活を送っていきましょう。2年生は「中だるみ」の時期などによく言われます。本校での生活にも慣れてきたことと思いますので、学習に部活動に・・・と充実した生活を送れるよう、がんばっていきましょう。「2年生でのがんばりが進路を決定させていく」と言っても過言ではありません。



3年生諸君は、いよいよ進路活動が本格化してきます。現時点で、ある程度、自分の方向性が決まっている人はそれに向けて着実に努力を重ねていってください。進学か就職か、大学か専門学校か・・・などで悩んでいる諸君もいると思います。自分の人生ですので、とことん悩み、じっくり考えて選択していくようにしてほしいものです。安易に決めてしまうのはとても危険ですし、ここでの選択は、人生を左右する一つの大きな岐路（きろ）と言えます。分からないことがあれば一人で抱え込まず、先生や家族、友だちなどしっかりと相談して、後悔しなくて済む判断をしていくようにしてください。希望進路実現に向けてしっかりとがんばっていきましょう。

【合格体験記】 西山直太郎さん（昨年度3年4組）
北里大学医療衛生学部合格 杏林大学保健学部合格
国際医療福祉大学赤坂心理・医療マネジメント学部合格
明星大学人文学部合格（いずれも一般入試）

私は、将来公認心理師になりたいと考えており、そのために資格を取得できる大学に入学しようと考えました。私は元々勉強が得意ではなく、クラスの順位を見ても下から数えた方が早いほどでした。このままではまずいと感じ、夏頃から自分の生活習慣を見直すところから始めました。



私は英語が特に苦手だったので、単語の暗記を毎日欠かさず取り組むことを意識していました。また、家ではなかなか集中できないと感じており、図書館やカフェなども利用し、自分に合う環境を選んでいました。冬には、過去問などの練習問題をひたすら解くのと同時に、基礎なども忘れてしまわないように復習を心がけました。

これから受験を迎える人は不安でいっぱいだと思いますが、自分のペースを忘れず、しっかり勉強に向き合えば良い結果を得られるはずです。自分を信じてがんばってください。

■ 高3 保護者対象進路活動説明会について

4月10日（木）の午後6時から聖賢堂で高校3年生の保護者を対象に進路活動説明会を実施しました。昨年度の進路実績についてお伝えした後、進学と就職に分けて、今後の活動の進め方についてお話ししました。特に進学については、入試の種類について説明した後、どのくらいの費用が必要になるか、どのような奨学金があるかなどについて重点的に説明いたしました。就職については、職場見学の時期や求人票の検索方法などを中心にお伝えしました。野球やサッカー等で地元を離れて本校に入学されている生徒の保護者様におかれましては、いろいろとご不安もおありかと存じます。学校としましては、できる限りサポートをして参る所存です。運動部に所属している生徒は少なくとも夏休み頃まで部活動が続き、その後、切り替えて進路活動を進めていくことになるかと思われます。いずれにしても、できるだけ早くから準備を進めていくことが大事になります。



なお、今後4月20日（日）までこの説明会の模様を動画配信しておりますので、参加されなかった保護者の方はBLENDで配信した資料をご参照のうえご視聴いただき、今後のお子様の進路活動のうえで参考にいただければ幸いです（※ご視聴いただけるのは高校3年生の保護者の方のみです）。

■進路指導主事が代わりました

高校3年生の保護者の方には4月10日(木)の保護者対象進路活動説明会でお伝えしましたが、本校の進路指導主事が昨年度まで14年間務めた清水聖から茅根誠先生に代わりました。引き続きよろしく願いいたします。清水の個人的な事情(※父の介護)を学校側が考慮して変更になった形ですが、持続可能な組織づくりの観点からもさまざまな意味で良い機会になったのではないかと考えています。

これまで『進路通信』については清水の方で担当し、14年間にわたって執筆してきました。はじめは不定期で発行していましたが、3年目ぐらいから毎月1回のペースで発行し4面構成となりました。1~3面までは進路指導関係のお知らせ、入試制度(指定校制推薦、公募制推薦、総合型の違いなど)、就職試験に向けて(職場体験や採用試験について)、3年生(卒業生)の合格体験記、日本学生支援機構奨学金の予約採用などについて取り上げ、最終面の4面で清水がコラム風に本校の建学の精神、時事ニュース、オリンピックやメジャーリーグ、箱根駅伝などスポーツに関係すること、NHKの大河ドラマや朝ドラでモデルになった人物のこと、多方面で活躍している卒業生の話・・・などを取り上げ、話題にしてきました。拙(つたな)い内容ながら、書き手としては、「このことは高校生(あるいは本校生)としてきちんと知っておいてほしい」とか、「この問題についてみなさんはどう考えますか?」という観点、あるいは「こういう人生もありますよ」ということで少しでも参考になればと思い、書いてきました。2・3年生には有効に活用してもらえていたら幸いです。

今年度始めの進路指導部の会議で、『進路通信』の係に改めて任命されましたが、清水だけでなく、新しく進路指導主事になった茅根先生をはじめ、進路指導部の先生方に記事を書いていただくなど、新たな試みもしていきたいと考えています。新聞のコラム(朝日新聞の天声人語や読売新聞の編集手帳など)は基本的に2名程度で担当者が書いているケースが多いようで、一般的に思われているよりも少ない担当者数で書いているようですが、『進路通信』については、多感な高校生を対象に発行していることから、特定の間人が記載し続けていると価値観や考え方などが固定化していくようで多少の抵抗がありました。複数の担当者で発行していく方が良く清水は考えています。

さて、特に高校1年生のみなさん、本校は中国の孔子の教えを基にした「儒学倫理」を建学の精神に置く学校です。少し難しく聞こえるかもしれませんが、毎週唱和していくことになる『修為要領十七条』に記載されている内容は、「自分がされて嫌なことは他人にもしてはならない」など、ごく当たり前のことです。ただ、このごく当たり前のことがなかなかできそうでできないということが実生活であるかと思えます。本校での3年間でしっかりと身につけていってください。



文責：進路指導部 清水聖